

連

挑

感

～連携・挑戦で感動の先駆者たれ～

GOOD ACTION PROJECT

創立70周年へ向けて 2020 ▶ 2025



岡山県中小企業団体中央会



岡山県中小企業団体中央会

創立 70 周年へ向けて！

2020 ▶ 2025

GOOD ACTION PROJECT

岡山県中小企業団体中央会は、本年 65 周年を迎えます。

今、県下中小企業を取り巻く環境は、

大きな変化の時代を迎えています。

こうした中で岡山県中小企業団体中央会は、

自らの使命を再確認すると共に、

今後 70 周年に向けて、進むべき方向性、理念を構築し、

内外に発信していくことを目的に、

「中央会 GOOD ACTION PROJECT」を策定いたしました。



岡山県中小企業団体中央会 GOOD ACTION PROJECT とは？

2020 ▶ 2025

1

岡山県中小企業団体中央会の基本理念

連・挑・感

(3つの“C”：Collaborate・Challenge・Change the Impression)

～連携・挑戦で感動の先駆者たれ～

岡山県中小企業団体中央会 (Chuokai) は、連携組織の専門支援機関としての誇りを持ち、中小企業をはじめとした皆さんに寄り添い、新たな連携の可能性に挑戦していくことで、中央会職員自ら感謝の心で感性を磨き、皆さんに高い次元の感動を提供できる創造的 (Creative) な先駆者を目指します。

「連」は連携を表し、「挑」は挑戦していく姿を表し、「感」は感動 (感動=感謝 × 感性) を表しており、「Change the Impression」は、「感動を変える」こと、より高い次元の「感動」の提供に向けた決意を表しています。

2

岡山県中小企業団体中央会の戦略ビジョン

～日本一の中央会を目指し、

新たな連携に創造力とスピードで挑戦し続けます～

- 岡山県中小企業団体中央会は、役職員が一丸となって“やってみよう中央会”を合い言葉に、中小企業の組織化を推進、多様な連携による共同事業の推進を日本一の気概を持って積極的に取り組み、特色のある連携体を構築できる経済団体として日本一の中央会を目指します。
- 岡山県中小企業団体中央会は、連携組織支援の専門機関として、高い志と自覚に立ち、連携のあり方にについてスピードと実績をもって示していきます。

3

戦略ビジョン実現に向けた基本方針

組合支援

組合支援のプロフェッショナルとしての誇りを胸に、感謝の心で組合の悩みに寄り添い、きめ細かな支援に徹します

連携支援

固定概念にとらわれず、常に新たな連携を模索していきます

企業支援

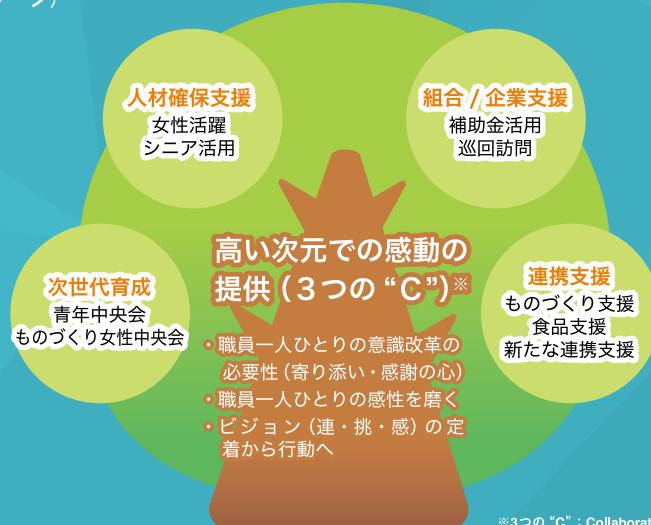
中小企業の悩みに徹して耳を傾けます

組織・人材

組織：皆さんに寄り添う中央会を心がけ、中小企業・組合・連携組織の可能性と感動を追求していきます

人材：常に新たな挑戦が岡山の発展に繋がるとの意識を持ち、皆さんに感動を提供できる創造的（Creative）な先駆者を目指します

支援Tree（イメージ）



※3つの“C”：Collaborate・Challenge・Change the Impression

4

課題解決のための GOOD ACTION PLAN

組合支援

- ・巡回訪問 / 組合ニーズ把握の徹底
- ・事業再構築（共同事業 / 組合員事業）支援
- ・事業提案 / コーディネート支援強化
- ・人材確保支援（U ターン / 女性 / OB / 外国人等）
- ・人材育成支援（合同研修等）
- ・非会員の会員化促進
- ・組合の財源確保の提案
- ・青年部（若手経営者）の支援

連携支援

- ・事業協同組合、企業組合の設立 / 運営支援
- ・任意グループ組成 / 組織化支援
- ・ものづくり女性中央会等の組織活動支援
- ・商工団体 / 金融機関 / 産学官の連携強化
- ・企業間連携による BCP 策定支援 / 助言
- ・ビジネスマッチング支援

企業支援

- ・取引力 / 販路開拓支援強化
- ・任意グループ把握 / グループ化の提案
- ・DX : デジタルトランスフォーメーション活用推進
- ・補助金活用の提案
- ・中央会賛助会員化の推進
- ・事業承継対策 / 経営計画の提案
- ・福利厚生（共済）情報の提案

組織・人材

- ・中央会組織の一体感の醸成
- ・フラット化組織の実現（課横断連携）
- ・仕事内容の見える化
- ・情報の蓄積と支援ノウハウの共有
- ・職員資質向上の推進（OJT/Off-JT）
- ・職場内外での自己啓発支援



“新たな連携とサービスのかたち”具体的なイメージ

岡山県中小企業団体中央会では、①全国組織を有している、②県下一円を支援対象としている。この2つの特性（強み）を活かし、さらに高度デジタル技術を活用し、新たな連携やサービスのかたちを創造していきます。

女性活躍の新しいかたち “岡山県ものづくり女性中央会”

岡山県ものづくり女性中央会は、平成30年8月、ものづくりの分野において、経営力を発揮している岡山県内女性経営者の集まりを結成いたしました。

人材の確保、定着、働き方改革など具体的な提言、研鑽等を通じて県内ものづくり業界の発展を目的に活動しています。

具体的な活動として、女性経営塾や理系女子大生との交流（リケジョホンネットワーク）の実施、全国レディース中央会の実施する全国大会への参加、全国団体（ものづくりなでしこ）との災害連携協定の締結、会員間の工場見学会など積極的に行われています。



食品事業者の課題に連携して 付加価値額向上を目指す “岡山フードバレーセンター”

岡山フードバレーセンターは、県内の食品関連事業者の活性化支援を目的に、平成28年から岡山県と連携し設置・運営しており、原材料の調達、一次加工についてコーディネーターの伴走型助言により支援しています。事例として、首都圏の健康インストラクターと県内の乳製品製造業者が連携した日本初の完全放牧によるギー（バターオイル）の開発支援や、県内生産者から調達した果物を使用したスイーツ開発・販売のマッチング支援など、多角的な活動を展開しています。県外事業者との取引比率の増加や雇用の拡大などのさまざまな実績が生まれており、連携を軸とした県内食品産業の総合相談窓口として機能しています。



デジタルトランスフォーメーション (Digital transformation : DX) デジタル技術の浸透で、あらゆる ビジネスシーンの変革に果敢に“挑戦”

これまで、大規模会場で実施していた「岡山県合同企業説明会」を動画配信サイトYouTubeを活用した新規システムによる「WEB版岡山県合同企業説明会」を提案。県の後押しを受け、短期間で同サイトを構築。このプラットホームを活用し、142の企業・団体が一斉に就活生に向けた動画による配信を開始。さらに、オンライン面接システムでZOOMを活用し、若者と企業との出会いの場をヴァーチャル（仮想）空間に構築し「WEB版おかやま就職マッチングフェア」として開催。岡山県内はもとより、中四国、近畿圏をはじめ全国の就活生に岡山県内企業の魅力を発信しています。



物流の新たな“かたち” 共同化を行うための連携組織

物流におけるコスト増や過疎地への非効率な配送等は業界において長年の課題となっています。物流の共同化にあたっては荷の種類、配送先の受け取り時間等の大きな課題があるため、配送する品目が共通する会社同士で組織化を行い、水平的な共同化（納品先が同じところにまとめて納品等）や垂直的な共同化（物流センターを共同化して効率化等）を目指します。

さらに、共同化に限らず、適切な配車手配を行うための求荷・求車システム等の活用検討や、倉庫でのピッキング作業やオペレーションの改善等、物流の効率化に向けて取り組んでいきます。

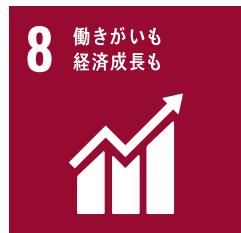


岡山県中小企業団体中央会の基本理念における “SDGs”からみた5つの取り組み視点

SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っており、日本を含め世界各地で積極的に取り組まれています。

私たち岡山県中小企業団体中央会では、このSDGsの趣旨に賛同し、まずは創立70周年(2025年)への5年間、私たちができる事から活動していきます。



岡山県中小企業団体中央会の基本理念である、“連・挑・感(3つの“C”：Collaborate・Challenge・Change the Impression)～連携・挑戦で感動の先駆者たれ～”を踏まえ、SDGs視点からみた重要度の高い取り組み目標として、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の5つを特定しました。とりわけ私たちの事業活動にとって優先度の高い5分野から積極的に取り組んでいきます。



岡山県中小企業団体中央会

岡山市北区弓之町4番19-202号(岡山県中小企業会館2階)

TEL.086-224-2245
FAX.086-232-4145
<http://www.okachu.or.jp/>

